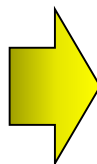


# 令和5年6月2日 台風第2号による天竜川の出水状況【第二報】



天竜川 鹿島観測所の状況(平常時)



天竜川 鹿島観測所の状況(6月2日 24:00)

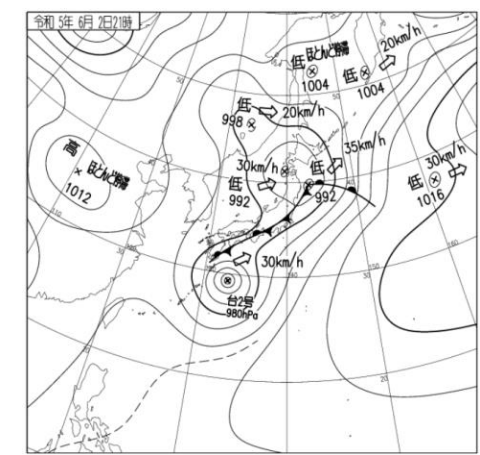
中部地方整備局  
浜松河川国道事務所

# 令和5年6月2日台風第2号 天竜川の雨量状況

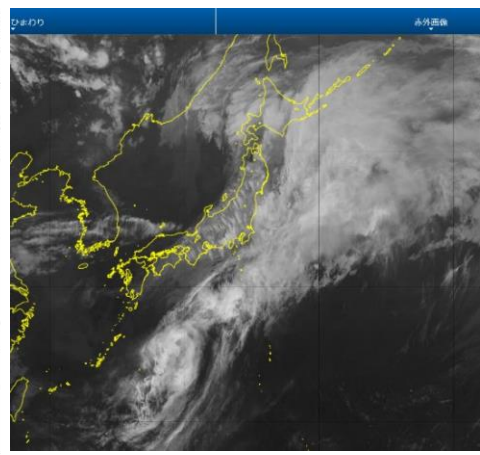
■ 静岡県では6月1日から3日にかけて台風2号の影響により激しい豪雨となりました。

■ 天竜川流域での降雨量は、以下を記録しました。

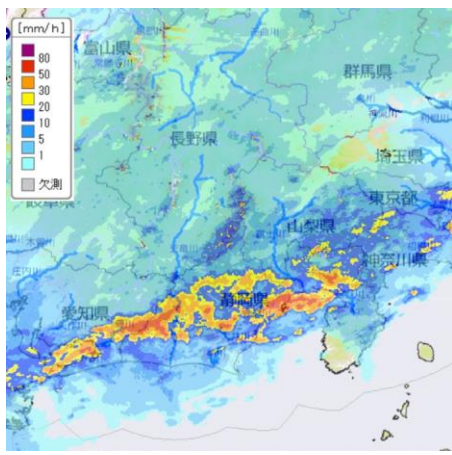
- なかのまち 中ノ町観測所で総雨量 297mm(時間最大51mm/h)、
 けた 気田観測所で総雨量 550mm(時間最大48mm/h)
- ふりかさ 振草観測所で総雨量 377mm(時間最大41mm/h)、
 しんよね 新豊根ダム観測所で総雨量 397mm(時間最大41mm/h)



天気図 6月2日 21時  
(気象庁HPより)



気象衛星画像 6月2日 21時  
(気象庁HPより)



レーダー雨量 6月2日 21時  
(統一河川情報システムより)



等雨量曲線 6月2日0時～6月3日7時  
(統一河川情報システムより)

主な地点の降水量

観測値は速報値 6月2日0時～6月3日7時

水系名	河川名	雨量観測所 (国)	総雨量 (mm)	時間最大 (mm/h)
天竜川	天竜川	中ノ町	297	51
		気田	550	48
		振草	377	41
		新豊根ダム	397	41

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

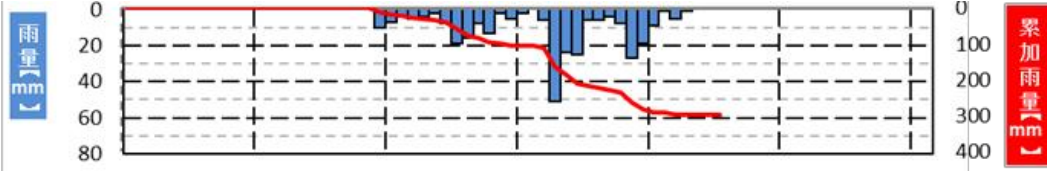


# 令和5年6月2日台風第2号 天竜川の水位状況

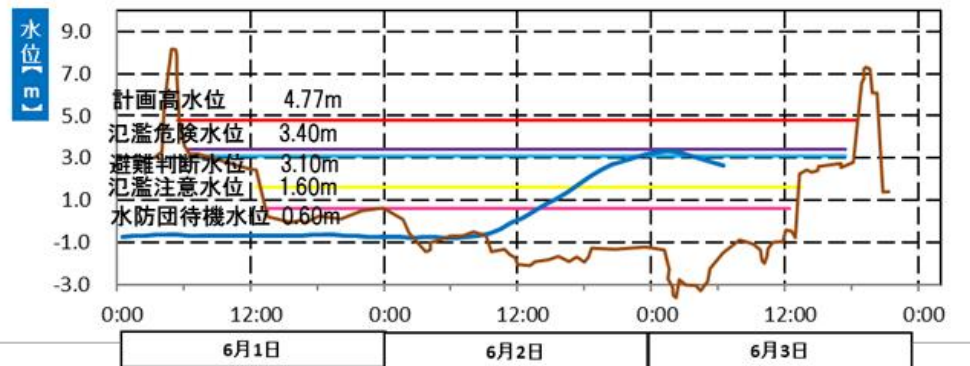
てんりゅうがわ なかのまち かしま

■ 天竜川の中ノ町観測所で避難判断水位を超過、鹿島観測所で氾濫注意水位を超過しました。

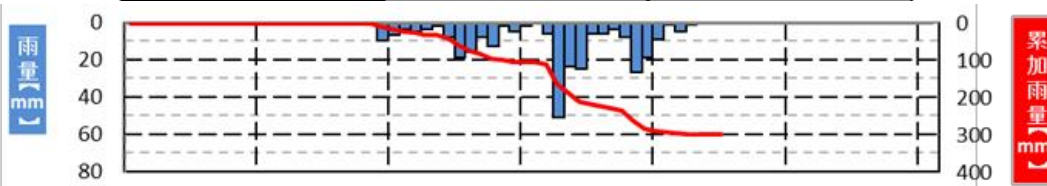
雨量観測所  
なかのまち  
中ノ町



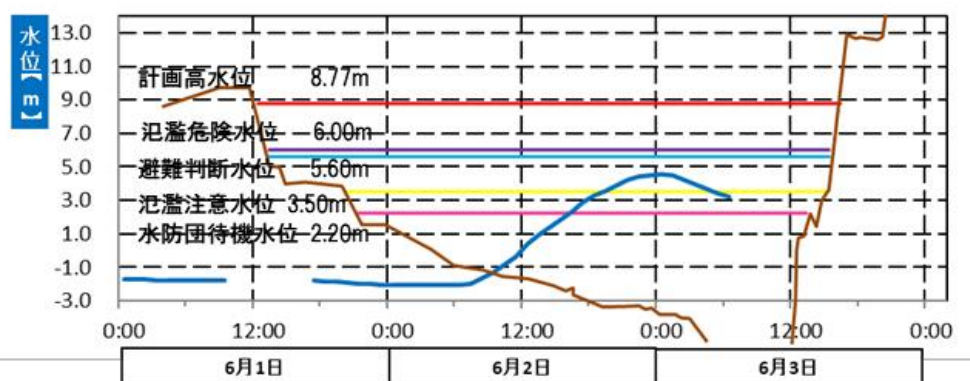
水位観測所  
なかのまち  
中ノ町



雨量観測所  
なかのまち  
中ノ町



水位観測所  
かしま  
鹿島



雨量の凡例

- 時間雨量 (Blue bar)
- 累加雨量 (Red line)

水位の凡例

- 時刻水位 (Blue line)
- 計画高水位 (Red line)
- 氾濫危険水位 (Purple line)
- 避難判断水位 (Cyan line)
- 氾濫注意水位 (Yellow line)
- 水防団待機水位 (Magenta line)

# 水位観測所付近の平常時と出水時の比較

## ■ 中ノ町観測所付近



## ■ 鹿島観測所付近



# 河川改修による治水効果(天竜川水系天竜川)

- 天竜川では、「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」により、樹木伐開や河道掘削を実施してきました。
- 今回の降雨では、樹木伐開等の整備より、天竜川6.0kp付近の河川水位を**約40cm低下させた効果**を確認しています。

## 河道掘削による流下能力の向上



## 樹木伐開による流下能力の向上



## 対策内容

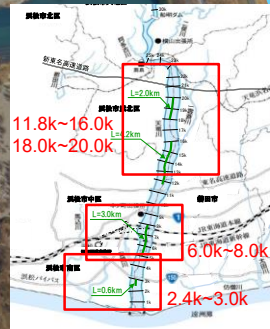
### 〇6.0k~8.0k地点



はままつしみなみくおおつかまち  
静岡県浜松市南区大塚町地先  
いいた・なかのまち・かけつか・いけだ  
(飯田・中ノ町・掛塚・池田地区)

浸水家屋数 約84,800戸

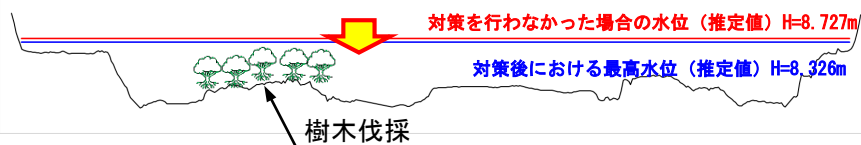
□:直轄河川改修による事業箇所



## 対策後の効果 (水位低減効果)

### 【天竜川 6.0k付近】

水位低減効果 約40cm (推定値)



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

■ 今回の出水において、測量コンサルタント、河川管理者など、多くの機関が連携し、出水対応を実施しました。



凡 例	
	東海道新幹線
	鉄道 (JR)
	リニア中央新幹線 (建設中)
	高速道路
	高速道路 (建設中)
	国道
	県界
	市町村界
	流域界
	河川
	基準地点
	主要地点
	ダム

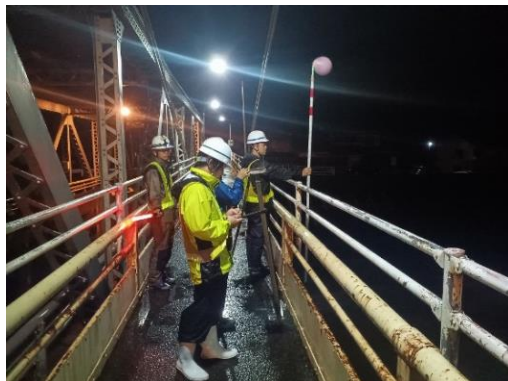
中部地方整備局 浜松河川国道事務所  
〒430-0811 浜松市中区名塚町266  
TEL 053-466-0111(代)  
<https://www.cbr.mlit.go.jp/hamamatsu/>

## 巡視の状況



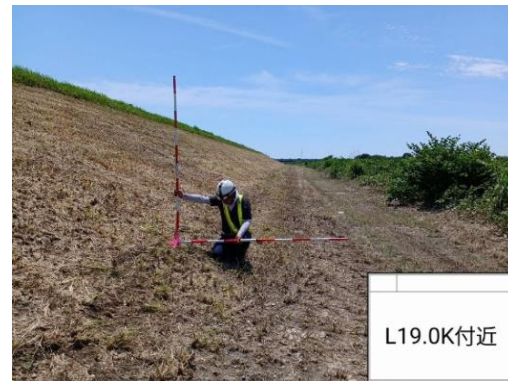
天竜川 右岸9.2k付近における出水巡視の状況

## 流量観測の実施状況



天竜川 鹿島水位観測所付近

## 洪水痕跡調査の実施状況

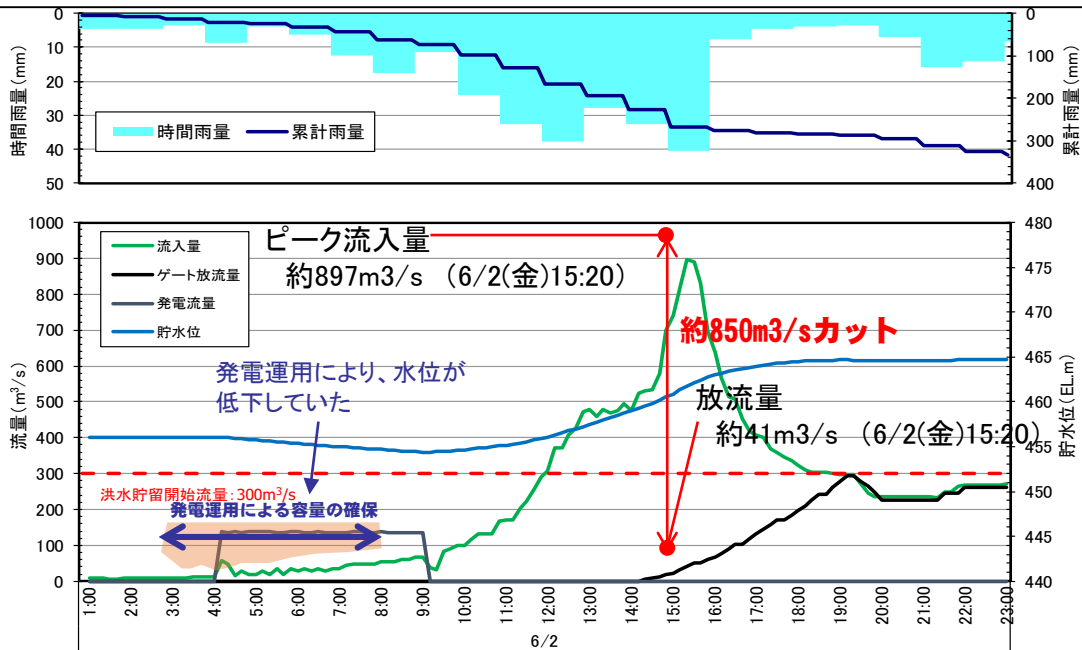


L19.0k付近

天竜川 左岸19.0k付近

# 新豊根ダムにおける洪水調節効果

- 令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号においては、高知県から静岡県にかけての広い範囲で線状降水帯が発生し、新豊根ダムにおいては、6月1日から降り始め、累加雨量約348mmの降雨となりました。
- 天竜川水系新豊根ダムでは、管理開始以降2番目となる流入量を記録したなか、既に確保していた事前放流量約1,000万m<sup>3</sup>と、発電運用により確保できた約1,000万m<sup>3</sup>、計約2,000万m<sup>3</sup>の容量を追加で確保した上で洪水を迎え、約1,000万m<sup>3</sup>の水をため込み、ピーク流入量を約850m<sup>3</sup>/sカットすることで、下流水位の上昇を抑制しました。
- また今回の出水において、平年の約80倍の約15,500m<sup>3</sup>の流木を補足しました。



○新豊根ダムによる浦川地点における流量低減効果は約850m<sup>3</sup>/s、水位低減効果は約1.3mであった。

ダムなし水位: 5.6m  
→ ダムあり水位: 4.3m

※1 流量の低減効果の算出方法は、浦川地点の実績流量にダム調節量分(Qin-Qout)を累計。

※2 水位は浦川地点のHQ式(R4年観測)より逆算した値

